

行 政 報 告

第4回町議会定例会の開催にあたり、日頃からの町政運営に対する議員各位のご協力に対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

地方財政は引き続き厳しい状況であります。計画した各種施策や事業等は、みなさんのご理解とご協力のもと、順調に進めさせていただいております。引き続き、本年度の残された行政課題の解決に努めてまいりますので、一層のご高配を賜りますようお願い申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

はじめに、防災対策について申し上げます。

今年度の防災訓練は、地震や津波、土砂災害をテーマとした「防災出前講座」を高齢者交通安全教室と合同で開催し、5月16日の双葉地区を皮切りに町内5箇所、7地区より68名の参加をいただきました。

また、10月10日には、ふれあいハイム長万部で、職員、入所者合わせて38名の参加をいただき、風水害、土砂災害に係る講話を実施し、防災意識の高揚に努めたところであります。

災害協定関係では、5月18日に株式会社サッポロドラッグストアと、10月17日には株式会社アクティオと災害時における応急生活物資の供給や、災害応急対策を目的としたレンタル機材の供給に関する協定を締結いたしました。

今後とも、防災訓練・集会を開催しながら、地域の自主防災組織化を推進し、安全・安心のまちづくりを進めてまいります。

次に、東京理科大学関係について申し上げます。

今年度は、10月28日に神楽坂キャンパスにおいて開催された「東京理科大学ホームカミングデー2018・イン・神楽坂キャンパス」では、長万部町特産品等の物販と併せ、ふるさと納税のパンフレット配布のほ

か、ふるさと納税の返礼品のPRとして、理科大連携アグリ事業で生産されている「エンリッチ」ミニトマトとトマトジュースの試食・試飲及び販売を行い、ふるさと納税拡大のPR活動を実施し、理科大関係者をはじめとした多くの来場者のみなさんからは大変甘くておいしいとの声をたくさんいただきました。

また、同時期に開催された葛飾区産業フェアでは、移住定住の相談窓口の開設と併せて出店し、多くの区民の方々にPRすることができました。

町内においても、11月3日と4日に開催された町総合文化祭でミニトマトとトマトジュースの試食・試飲と販売を実施し、多くの町民が訪れ、短時間の内に完売する盛況ぶりでした。

この「エンリッチ」ミニトマトとトマトジュースのセットは、11月からふるさと納税返礼品のラインナップに新たに加わり好評をいただいております。一方の販売先確保についても各方面で契約が固まりつつある状況となってきております。

また、栽培ハウス1棟と関連工事は10月末に完了し、11月初旬には苗の定植も終わり栽培開始したところで、来年1月中には2棟目の初収穫ができる見通しとなっております。

引き続き本事業の成功に向け、連携する関係企業との協議を密にし、理科大と更なる連携を深め取り組んでまいります。

次に、移動町長室について申し上げます。

町政について町民の方々と自由に意見を交換し、より住み良いまちづくりを進めるため、移動町長室を10月10日から町内4会場で開催いたしました。

今回の移動町長室には、延べ50人の方々が出席され、長万部まちづくりアクションプランの周知に続き、災害など緊急時の情報伝達に関する課題や避難所での電源確保の対応など、災害対策全般についてや、公共施設の老朽化対策、新幹線建設工事に関する事、理科大アグリ事業への期待、町道本通線の道道昇格による整備に関する事、地域における高齢者住民の見守り対策など広範囲な分野において、町民のみなさん

から多くのご意見・ご要望などをいただきました。

これらの貴重なご意見・ご要望を今後の町政運営に活かしてまいります。

次に、北海道新幹線工事関係について申し上げます。

現在、町内では3本のトンネル工事が行われておりますが、立岩トンネルのルコツ工区では、横坑の掘削が完了して本坑の掘削が開始されており、11月末現在で延長176m、掘削率は3.5%となっております。

また、内浦トンネルの静狩工区においては、年明けに本坑の掘削と発生土の運搬を予定しており、これに伴い現在、坑口付近の法面工や架設ヤードの設置、濁水処理設備の工事が行われており、さらに、立岩トンネル豊津工区では、来年度からの掘削に向けて架設ヤードなどの施工計画の準備が進められているところであります。

次に、まちづくり推進会議について申し上げます。

まちづくり推進会議については、任期満了に伴い9月18日付けで新たに第2期目となる24名の委員を委嘱したところであり、第1回目のまちづくり推進会議を9月27日に開催し、今後議論する見込みの都市計画マスタープランの改正作業や、地方創生総合戦略の施策の効果・検証などについて内容を確認し、今後の会議の進め方について議論したところであります。

次に、新幹線開業を見据えた地域連携について申し上げます。

長万部まちづくりアクションプランに基づき、新幹線開業を見据えた広域連携の取組の一つとして、長万部町、黒松内町、豊浦町の各町長とまちづくり・観光担当職員による連携会議を10月23日に長万部町役場で開催し、広域連携の可能性・方向性を検討いたしました。

この3町は歴史的に人や物の繋がりはあるものの、行政的には別々の振興局のため情報が入りにくく、地理的に各地域の「はし」にあることから、様々な面で不利な要因を抱えておりますが、この不利な側面を逆手にとって、会議の名前を「はしっこ同盟」とし、新幹線開業を契機に、新たな新幹線長万部駅圏域を強みとして、3町地域の発展を図ることを目的に、今後、連携を継続的に議論していくこととなりました。

次に、地域会館関係について申し上げます。

老朽化した国縫振興会館と国縫消防分団機械器具置場の機能を併せ持つ施設としての、国縫振興会館等建替工事につきましては、11月30日に完成しております。

新しい施設の利用につきましては、引っ越し等の完了後の12月18日を使用開始予定として、本定例会に条例の一部改正を提案いたしております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

今年度4月から10月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は、約1,005トンで、前年度同期と比較し、約57トン減少しております。

渡島廃棄物処理広域連合で運営しておりますクリーンおしまの焼却施設では、9月6日の北海道胆振東部地震の発生の際に、高温集じん器のフィルターが多数損傷し、2炉とも運転を停止しました。復旧状況につきましては、2号炉が9月17日、1号炉が10月17日に復旧し稼働しております。この間のごみ処理につきましては、中継施設より搬入する分について、函館市に9月15日から10月13日まで委託して処理をしております。

また、ごみの減量化の一環として実施しております衣類の無料回収は、役場窓口での随時受付と5月の巡回地域回収を実施し、今年度は10月末で432キログラムの衣類を回収いたしました。長万部町地域女性団体

連絡協議会でも2回の衣類回収について、ご協力をいただいております。

廃食用油は、今年度も役場・福祉センター・各会館のごみステーションに無料回収ボックスを設置して、現在までに674リットルを回収しており、使用済小型家電についても、同じく役場庁舎内の無料回収ボックスで、560キログラムを回収しております。

町民のみなさんには、今後ともごみの減量化やリサイクルへのご協力をお願いいたします。

次に、海岸漂着物対策関係について申し上げます。

長万部地区・旭浜地区・静狩地区の海岸漂着物の回収・処理につきましては、10月31日に完了しております。

次に、町民の健康増進について申し上げます。

健康づくりの推進につきましては、特定健診やがん検診といった各種検診を実施しており、受診率向上のため無料クーポン券の配布や、対象者への電話勧奨等を積極的に行っております。

次の特定健診・がん検診は、2月に実施する予定でありますので、引き続き受診勧奨等に努め、受診率向上を目指してまいります。

園児や生徒を対象とした健康教室では、11月7日に幼稚園で食育教室を開催し、栄養士による栄養バランスについての講話と、園児が育てた野菜を使った調理実習を実施し、食育に関する理解を深めました。

また、高校3年生を対象に実施した育児体験教室では、お母さんにインタビューをしたり、赤ちゃんとふれあい、命の大切さを学んでいただきました。

次に、インフルエンザ等の予防について申し上げます。

高齢者のインフルエンザ予防接種については、11月末現在836人から申請がありました。

インフルエンザ流行の時期でもあることから、うがいや手洗い、手指消毒、外出時のマスク着用等の励行を促し、予防の徹底を図ってまいります。このほか、ノロウイルスやロタウイルスによる感染症にも備え、うがいや手洗い等の励行を勧めてまいります。

次に、高齢者福祉関係について申し上げます。

地域敬老会は、9月7日を皮切りに26地域23会場で実施され、対象者1,230人に対し579人の出席をいただき、出席率は47.1%となりました。

各会場とも、町内会等のみなさんによる特色ある料理の提供や趣向を凝らした催しなどにより、出席された方々から大変喜ばれておりました。

町内会等のみなさんには、ご苦勞をおかけしますが、高齢者の集まる場の一つとして継続されることをお願いいたします。

また、今年も長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、9月10日から12日までと14日から17日までの計7日間、老人福祉センターを無料開放したところ346人が利用されました。

さらに、町内にある公衆浴場についても助成を行い無料開放を実施したところ712人が利用されました。

10月18日には、福祉センターにおいて、日頃の運動不足解消と会員の協調、親睦の輪を広げることを目的に、老人クラブ運動会が12クラブ102人の参加で開催されました。

次に、冬期福祉給付金(福祉灯油)について申し上げます。

本格的な冬に向かい、灯油料金、電気料金の高止まりもあることから、高齢者や障がい者等で低所得の状況にある方に灯油購入費等の一部を助成し、冬期間の増嵩経費に対する経済支援として、前年度と同様に冬期福祉給付金事業を実施するため、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、生活支援体制整備事業について申し上げます。

明るく活力ある超高齢化社会を構築するために、あらゆる住民が役割を持ち、助け合いながら暮らすことができる地域共生社会の実現が求められています。

4月には、10名の会員からなる長万部町生活支援体制整備事業協議体を設置し、生活支援コーディネーターとともに、住民主体で助け合い活動を創出・推進するための『話し合いの場しゃべれ〜る』を企画運営し、住民主体の互助活動の取組を進めております。地域で生活する高齢者のニーズの把握や、地域の中にある社会資源を掘り起こし、高齢者を支え合う体制づくりを目指してまいります。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物の牧草やサイレージ用トウモロコシは、10月15日の調査では、天候不良等により、平年と比べ収量が減少している状況であります。

生乳生産量は、4月から10月まで約5,932トンを出荷し、前年に比べ約43トンの増となり、乳代は約5億3,561万円で、前年に比べ約715万円の増となっております。

黒毛和牛の4月から10月までの販売頭数は155頭、販売金額は1億642万7千円で、前年同期と比較して、販売頭数は4頭の減で、販売金額は、1,149万6千円の減となりました。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場運営事業を実施しておりますが、10月26日に下牧が完了しております。

この間の入牧延べ頭数は64,527頭で、前年に比べ1,512頭の増となりました。

新規就農者対策としては、7月28日に東京都、10月14日に札幌市で開催されました「新・農業人フェア」及び、8月26日に北斗市で開催されました「第2回おしま農業のお仕事フェア」に長万部町のブースを出展し、農業に興味がある来場者13組14名の就農相談があり、長万部町のPRや就農への情報発信を実施しております。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業は、平成28年度に寄付を受けた共立地区の土地に地拵・植栽事業として3ヘクタールを10月31日に完了しており、豊津、富野地区の保育間伐事業9.66haは11月26日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業の豊津地区15ヘクタールの風倒木整理・地拵・植栽事業は、11月26日に完了しております。

次に、漁業関係について申し上げます。

本町のホタテ貝養殖漁業での11月末現在の種苗の生育状況は、へい死・変形等が一部で発生しておりますので、春の耳吊り時期までの生育状況を渡島北部地区水産技術普及指導所等各関係機関と連携し、調査を行う予定となっております。

また、成貝は12月より水揚げが予定されておりますが、こちらもへい死・変形等が一部で発生しております。

本年の秋鮭漁は、11月22日現在、漁獲量は約548トンで、前年に比べ約170トンの増となっておりますが、漁獲金額は約3億1,943万円で、前年に比べ約458万円の減収となっております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

中小企業の業況は緩やかに改善していますが、原材料価格の上昇や人手不足への懸念など、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、中小企業の健全育成と経営安定のため、国や道の様々な金融支援に対し、関係機関と連携し、町としての認定窓口等の設置を行っております。

次に、本年度上期の観光客入り込み数は、8月までの入り込み数においては昨年とほぼ同数の約24万9千人でしたが、9月6日発生 of 北海道胆振東部地震の影響により9月の入り込み数が昨年から16.7パーセント減少し、上期全体としては、前年度に比べ2.8パーセント減少

して約29万2千人となっております。また、観光客誘致事業として、札幌市で開催されましたサッポロビアガーデンふるさとPRステージに参加したほか、東京都葛飾区で10月26日から28日に開催された第34回葛飾区産業フェアへ昨年に引き続き出展し、長万部町の観光PR並びに特産品の販売を行いました。

これらのイベントには、町のキャラクター「まんべくん」も参加し、誘客効果を高めました。

次に、労政関係について申し上げます。

本年度も季節労働者の労働環境向上のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、雇用相談や求人情報の提供、技能研修などを通して、通年雇用に向けた支援を行っております。

次に、消費者相談関係について申し上げます。

近年、悪質商法や訪問押し買い詐欺、料金不正請求など次々と新しい手口による消費者問題が多く発生しており、消費者の安全確保についての苦情相談など、住民に対して必要な情報収集や提供を行うため消費生活相談員を配置するとともに、昨年度から全国消費者生活情報ネットワークを活用して全国の最新苦情相談情報を収集しております。

今後、ますます巧妙化する手口への対応が必要とされる中、引き続き消費生活相談員を配置することにより、被害防止講座の開催、関連する部署間の情報交換や町広報での消費者の安全確保に関する情報周知を継続して行い、住民の消費者生活被害予防に努めてまいります。

次に、建設関係について申し上げます。

土木事業では、町道中山大通線外舗装補修工事について、工期内の11月16日に完成しております。

町道本町一号線道路改良工事につきましては平成31年1月21日までの工期で、町道浅見線災害復旧工事は1月25日までの工期で、町道北九号線側溝取替工事は1月31日までの工期で、普通河川ロクツ川災害復旧工事は2月15日までの工期で、それぞれ施工中であります。

また、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施する、長万部中央跨線橋修繕調査設計業務については、平成31年2月28日までの期間で、JR北海道と協議、連携をとりながら、調査作業を進めてまいります。同じく国の交付金を活用する橋梁長寿命化のための、静狩5号橋修繕工事は12月19日に完了予定であります。

除雪関係では、協同組合長万部町建設協会と11月8日に委託契約を締結し、町道や公共施設等の除雪作業を実施してまいります。

建築事業では、町営住宅はまなすシルバーハウジング緊急通報システム更新工事を平成31年3月8日までの工期で実施中であります。その他、公共施設や町営住宅の修繕工事は、計画的に実施しております。

公園事業では、今年度の長万部公園キャンプ場の利用は、10月31日で終了いたしました。キャンプ場の利用者は2,969人で、昨年度に比べ3.3%の増となっております。

あやめ公園パークゴルフ場の利用者は5,466人で、昨年度に比べ9.4%の減となっております。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

終末処理場内処理水給水ユニット外修繕工事及び下水道マンホール蓋交換修繕外工事は、11月20日に完了しております。

次に、ガス事業について申し上げます。

ガス本支管改良工事の中山大通線工区及び北3号線工区は、10月31日に、南3号線工区及び電気防食工区試掘調査は、11月30日に完了しております。

次に、水道事業について申し上げます。

道道長万部公園線配水管移設工事は、12月7日に完了しております。

次に、消防関係について申し上げます。

今年11月末日現在の火災発生件数は3件で、うち建物が2件、野火が1件、救急件数は276件で、うちドクターヘリでの搬送は11件となっており、昨年同期より火災が2件、救急が29件減少しております。

火災予防の事業では、秋の全道火災予防運動期間中に、介護施設や旅館、大型店舗、小規模店舗など、不特定多数の方が出入りする施設の防火査察、女性消防団員による街頭啓発や防火訪問、各地域の分団による防火査察を実施いたしました。

救急関係の事業では、檜山北高校のインターンシップ研修生1名に対し普通救命講習を実施したほか、水産加工研修生・保育所・老人施設・学校施設で普通救命講習・上級救命再講習を開講し、135名が受講しました。

消防団の事業については、11月18日に消防団新入団員教育、11月28日に部長・班長を対象とした中級幹部講習を実施し、「緊急自動車の法令と実務」について講習を行いました。

また、各分団で歳末防火広報の実施を計画しております。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の一部改正、各会計補正予算など、合わせて14件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。